

カーブ構築とリスク日報改善のメリット

※本記事は FINCAD 社の公式ブログの「THE BENEFITS OF BETTER CURVE-BUILDING AND DAILY RISK REPORTING」(2018/5/1)を翻訳したものになります。

(<http://www.fincad.com/blog/benefits-better-curve-building-and-daily-risk-reporting>)



今日、金融機関に対する報告、ビジネス、および業績に関する要求が以前にも増して強くなっています。企業にとっては、コストを抑制し、収益を向上させながらこれらの要求すべてをこなすことは、困難に感じるものがよくあるでしょう。

FINCAD 社の顧客である南米の国有銀行が、最近この状況に陥りました。この企業が FINCAD に援助を求めた時点で、彼らには3つの目標がありました。

- 第一、自行の取引と市場データの入出力に関連した処理をより多く自動化することで、**効率と精度の改善**。
- 第二、自行ポートフォリオ価値の日ごとの変動をより良く理解する助けとして、**価値評価の精度を改善し、損益の帰属を行う**。
- 第三、法的規制と自行の業務報告要件を満たすため、**信用評価調整 (CVA) を算出**。

背景を少し説明すると、このクライアントは政府が所有する多国籍銀行で、積極的に外国通商に携わる企業を主な顧客としています。この銀行の財務部門は、金利スワップ、通貨スワップおよび FX フォワードで構成する複数

通貨のポートフォリオ（米ドル、ユーロ、英ポンド、スイスフラン、日本円、カナダドル、メキシコペソ、ブラジルレアル、オフショア人民元、コロンビアペソ、ペルーペソ、およびチリペソ）を運用しています。これらの金融商品は、この銀行のエクスポージャーをヘッジする運用の一部です。

ここで触れておきたいことは、この南米の銀行は、今回の新しい挑戦以前から約 10 年にわたり FINCAD のクライアントであったということです。これだけの長い期間、FINCAD に対し高い満足感を得ていたクライアントであったからこそ、追加のリスクと価値評価ニーズの依頼先として弊社が自然と選ばれたのです。

結果として、この銀行の意思決定者は時間を置くことなく FINCAD との関係を拡大し、マルチアセット、複数通貨のデリバティブと固定債のポートフォリオに対するモデル化、価格決定、価値評価およびリスク管理の先進的なエンタープライズソリューションである F3 を導入することを選択しました。

F3 が選択された理由は以下の通りです。

- 数多くの通貨に対応した OIS カーブ実装機能を含む強力なカーブ構築機能
- 正確な損益要因分析と CVA 計算結果を算出する機能
- 市場リスクの部門やその他デリバティブの結果を必要とする銀行内の各部門のために、ワークフローをより管理しやすく、また効率的にする機能

また、FINCAD ソリューションを実施し、継続的なテクニカルサポートを受けるために、彼らは FINCAD Professional Services の利用を選択しました。

『FINCAD Professional Services を利用する決定は戦略的でした。我々のビジネスモデルは、クォンツチームをスタッフとして置かないというものです。我々のすべてのデリバティブリスク計測の実装や計測といったことに関する対して、継続的にエキスパートクォンツを割り当ててもらうことで、FINCAD 社のチームが見事にこのギャップを補ってくれています。』

—南米多国籍銀行 市場リスク部門長

結果

市場リスク部門、運用部門、および経理部門は日々のワークフローで必要とされてきた手作業の大幅な削減による恩恵を享受しています。結果として、戦略的な業務に割り当てられる時間が増加し、また人的エラーやスプレッドシートのエラーによるオペレーショナルリスクが大幅に低下しました。

FINCAD F3 を使用開始して以来、この銀行は価値評価とリスクの算出の自動化によって大幅な高速化を実現でき、結果として完全な形の報告書のセットを僅か 10 分で作成することが可能になりました。

FINCAD F3 の導入前は、価値評価とリスクエクスポージャーの報告書は月末にのみ作成されていました。ところが、現在ではこれらの主要なリスク計算がその日のうちにアクセス可能となり、毎日報告することができています。

『弊社のリスク報告が、月一回から日常業務になったことは天地の差をもたらしました。より頻繁に結果をアウトプットすることは、関連するリスクを低減することを意味し、今では弊社はより効率的に運営されています。』

—南米多国籍銀行 市場リスク部門長

それに加えて、シナリオ分析、CVA、損益要因分析などのより深いリスク計算によって、現在ではこの銀行がその業務をよりタイトに管理することを可能にしています。

この銀行の経験談をより詳細にお知りになりたいお客様は、以下の事例をご覧ください。

(<http://www.fincad.com/resources/resource-library/case-study/latin-american-bank-case-study>)

ABOUT THE AUTHOR

Rob Garfield

Head of Product Marketing and Corporate Communications, FINCAD

A key member of FINCAD's marketing team, Rob is responsible for product and content marketing , messaging, sales enablement, market intelligence and corporate communications. Rob has deep marketing and business development experience in financial information and technology, and prior to joining FINCAD, was Global Head of Equities Marketing at Thomson Reuters. Rob has also held senior marketing and product roles at SunGard, NYMEX, and earlier in his career, traded energy derivatives at Morgan Stanley.